



S.Suzuki

サマー2000シリーズ

THE TANABATA SHO

第61回 七夕賞 (GIII)

1着 本賞 43,000,000円
付加賞 525,000円
2着 17,000,000円
付加賞 150,000円
3着 11,000,000円
付加賞 75,000円
4着 6,500,000円
付加賞 0円
5着 4,300,000円
付加賞 0円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

3歳以上、2024.7.6以降2025.7.6まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 ハンデキャップ

2025.7.13 福島 晴・良 芝2000m (国際) (特指)

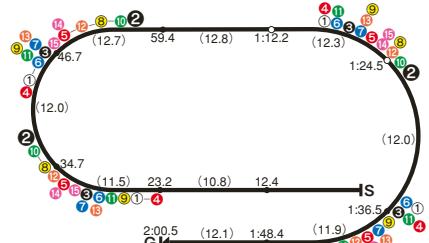
順位	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム (着差)	コーナー 通過順位	上り (600m) (増減)	馬体重 (kg) (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	②	コスモフリーゲン	牡5	56	柴田大知	2:00.5 1-1-1-1	36.0 502(+0)	4.2②	昌山吉宏(美浦)	108		
2	⑯	ドゥラドーレス	牡6	57.5	戸崎圭太	アタマ 7-7-5-4	35.4 500(-2)	3.0①	宮田敬介(美浦)	110		
3	⑦	オニヤンコボン	駆6	55	菅原明良	3½ 8-8-8-8	35.7 466(-4)	49.8①	小島茂之(美浦)	99		
4	⑫	シルトホルン	牡5	57	大野拓弥	1¼ 4-4-3-4	36.3 478(+2)	10.7④	新開幸一(美浦)	101		
5	①	ドラゴンヘッド	牡5	52	横山疏人	2 14-14-14-14	35.6 450(+2)	34.3⑩	武藤善則(美浦)			
6	⑯	セブンマジシャン	牡5	54	丸山元気	クビ 10-8-8-8	36.4 500(-4)	13.0⑦	高野和友(栗東)			
7	⑨	ニシノレヴァナント	駆5	55	田辺裕信	クビ 13-11-8-10	36.3 484(-4)	12.1⑥	上原博之(美浦)			
8	⑧	シリウスコルト	牡4	58.5	古川吉洋	% 3-3-3-2	36.9 490(+2)	6.3③	田中勝春(美浦)			
9	⑪	パラレルヴィジョン	牡6	57.5	津村明洋	2½ 12-11-12-11	36.5 488(+0)	49.8⑩	国枝栄(美浦)			
10	⑩	ショウナンマグマ	牡6	56	三浦皇成	% 2-2-2-2	37.6 510(-8)	143.3⑩	尾関知人(美浦)			
11	⑭	パラジ	駆6	56	荻野 慎	アタマ 5-5-5-6	37.2 500(-4)	12.1⑤	鹿戸雄一(美浦)			
12	③	ダンテスヴュー	牡6	54	内田博幸	3 8-8-11-11	37.2 472(+2)	57.9⑩	友道康夫(栗東)			
13	⑥	ギャラクシーナイト	牡6	55	菊沢一樹	% 10-11-12-14	37.1 514(+4)	99.0①	菊沢隆徳(美浦)			
14	④	マテンロウオリオン	牡6	56	横山典弘	4 15-15-14-11	37.5 476(+8)	31.5⑨	昆 貞(栗東)			
15	⑤	リフレーミング	牡7	58	M.アルーロ	2½ 5-5-7-6	38.9 474(-6)	16.5⑧	藤野健太(栗東)			

単勝②420円(2人) 複勝②160円(2人) ⑯140円(1人) ⑰790円(12人) 枠連②-⑧620円(2人)

馬連②-⑯780円(1人) ワイド②-⑯420円(1人) ②-⑦4,040円(44人) ⑦-⑯3,510円(38人)

馬単②-⑯1,440円(1人) 3連複②-⑦-⑯15,500円(52人) 3連単②-⑯-⑦-50,320円(169人)

5重勝③④⑤-⑯22,076,630円(21票) 対象競走: 小倉10R／福島10R／函館11R／小倉11R／福島11R



通過タイム : 600m 800m 1000m 上り : 800m 600m
34.7 - 46.7 - 59.4 48.3 - 36.0

アラカルト

- 柴田大知騎手はマイネルラクリマで制した13年に続く七夕賞2勝目。JRA重賞はスマイルカナで制した20年ターコイズSに続く通算16勝目
- 島山吉宏調教師は七夕賞初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算11勝目
- スクリーンヒーロー産駒はJRA重賞通算25勝目
- ハンデ56kgでの勝利は14年メイショウナトル以来11年ぶり、通算8回目
- 馬連780円、馬単1,440円は各式別における本競走の最低払戻金額

コスモフリーゲン *Cosmo Fliegen*

牡 栗毛 2020.3.31生

北海道新冠町 ビッグレッドファーム生産

馬主・有(ビッグレッドファーム 美浦・畠山吉宏厩舎

馬名意味・冠名+飛ぶ(独)

父スクリーンヒーロー

北海道千歳市 台社ファーム生産 中央23戦5勝(ジャパンC_{G1}、アルゼンチン共和国杯J_{H2}、天皇賞(秋)G_I2着)、最優秀4歳以上牡馬、10年から供用、23年引退
〔代表産駒〕モーリス(天皇賞(秋)G_I、チャンピオンズマイル・香港G_I、香港マイルG_I、香港C_G、安田記念G_I、マイルチャンピオンシップG_I)、ゴールドアクト(有馬記念G_I)、ウインマリリン(香港ヴァーズG_I)、ウイングレイテスト(スワンS G_{II})、ジェネラーレウーノ(セントライト記念G_{II})、アートハウス(ローズS G_{II})、クールキャット(フローラS G_{II})、コスモフリーゲン(本馬)、ウインカーネリアン(東京新聞杯G_{III})、ピースオブエイト(毎日杯G_{III})、ヴァンチャーレ(シンザン記念G_{III})、ミュゼエイリアン(毎日杯G_{III})、トラスト(札幌2歳S G_{III})、マイネルグリット(小倉2歳S G_{III})、他に活躍馬多数

母フライングメリッサ

北海道白老町 (有)台社コーポレーション白老ファーム生産 中央34戦3勝(秩父特別)、24年転売不明

ワグブルダンス(11 牡父クロフネUSA)中央3戦0勝、地方25戦2勝

マイネルラフレシア(13 牡父ジャングルポケット)中央37戦3勝(アイビーS ⑨、甲斐路S、プリンシバルS ⑨)2着、東京スポーツ杯2歳S G_{III}3着)、障害1戦0勝

コーラルバイン(15 牡父ノヴェリストIRE)中央3戦0勝、地方3戦0勝

ディオミーオ(16 牡父アイルハヴァナナーUSA)中央5戦0勝、地方2戦0勝

マイネルバリオート(18 牡父グラスワンダーUSA)中央26戦1勝、地方35戦0勝

マイネルニコラス(19 牡父キングカメハメハ)中央27戦3勝(⑨)

コスモフリーゲン 本馬(20 牡父スクリーンヒーロー)中央9戦5勝(七夕賞G_{III}、サンシャインS、高山特別)獲得総賞金113,185,000円

マイネルディレクト(21 牡父ロージズインメイUSA)中央18戦2勝(⑨)

レモンバーム(22 牡父ジョーカープチーノ)中央5戦1勝(⑨)

(24 牡父ベンバトルGB)

※12(前年種付せず)、14(死産)、17、23、25(不受胎)

祖母ウイングオブラック

北海道白老町 白老ファーム生産 中央0勝。19年用途変更

フライングメリッサ(04 前出)

シルクレイノルズ(08 牡父スペシャルウィーク)中央2勝(川俣特別)

曾祖母バブルウイングスFR

英4勝。98年輸入、07年死亡、ショウナンパントル(阪神ジュベナイルフィリーズG_I)の母、ショウナンアチーヴ(ニュージーランドトロフィーG_{II})の祖母

パブルウイングスFR系 F1-b		
スクリーンヒーロー 栗毛 2004	グラスワンダーUSA 栗毛 1995	Silver Hawk Ameriflora
	ランニングヒロイン 鹿毛 1993	サンデーサイレンスUSA ダイナ актуレス
フライングメリッサ 鹿毛 2004	ダンスインザダーク 鹿毛 1993	サンデーサイレンスUSA ダンシングキイUSA
	ウイングオブラック 鹿毛 1999	ブライアンズタイムUSA パブルウイングスFR

5代までのインブリード: サンデーサイレンスUSA S 3×M3 Roberto S 4×M4
Hail to Reason S 5×S 5×M5×M5
Northern Dancer S 5×S 5×M5

INTERVIEW

蛯名聰マネージャー(ビッグレッドファーム)

よく頑張ってくれたという思いに尽きます

デビュー前から怪我やのどの手術を経験し、3歳3月のデビュー後も骨折で長期休養するなど、常に状態を見ながら慎重に進めてきた馬です。ここまでよく頑張ってくれたという思いに尽きます。乗り難いところもある本馬に、調教からずっと付き合ってくださった柴田大知騎手もとても嬉しそうでしたね。これから先は順調に、長く活躍してくれることを願っています。



スクリーンヒーロー産駒の本馬は3歳3月のデビューから翌年1月にかけて3連勝。3勝クラスではしばらく惜敗の足踏みを重ね、その後、骨折による長期休養という試練にも見舞われたが、今年3月の復帰戦でアドマイヤマツリの2着に逃げ粘り、地力の高さを印象付けた。次戦を勝ち上がり、重賞へ駒を進めたこの日は、付き切りで調教もつけてきた主戦の柴田騎手と呼印を合わせ、持ち味の先行力と持久力を存分に發揮。夏の中距離王を狙う存

夏の福島開催の看板といえるハンデ重賞・セタ賞の中心勢力と目されたのは、初のタイトル獲得に挑むドゥラドーレス、コスモフリーゲンと、重賞連勝を狙う新潟大賞典の覇者シリウスコルト。このうち実績上位の半面、トップハンデ 58・5⁵kg)を背負つシリウスコルトは評価一枚割り引かれ、早くから「大器」と評されてきたエプソムCの2着馬ドゥラドーレスと、重賞初挑戦のコスモフリーゲンが1、2番人気に支持された。結果的にもその2頭が息詰まる攻防を演じたレースはアタマ差で決着。勝利の重配はコスモフリーゲンにあがつた。

内枠から好スタートを決め、軽快な中盤にペースを緩めた柴田騎手は3コーナーから再び加速、後続を突き放して押し切り能勢を築く。直線入口で2番手に上がったシリウスコルトは伸びを欠き、かわって4コーナーからスパートしたドゥラドーレスが強襲。見事見るうちに差を詰めて前に迫ったが、しぶとい粘り腰を發揮したコスモフリーゲンがこの追撃をアタマ差に抑え込み、勝利を手にした。

重賞初挑戦でアタマ差の逃げ切り勝ち

ダッシュで飛び出したコスモフリーゲンの柴田大知騎手は、そのまま先手を奪取。前進気勢を露にした馬をなだめながらレースを引っ張る。新潟大賞典を逃げ切ったシリウスコルトは待機策を選び、2番手のショウナンマグマから5馬身ほど離れた3番手で折り合いに専念。一方のドゥラドーレスは縦に長い隊列の中団につけ、仕掛けのタイミングを窺つた。

中盤にペースを緩めた柴田騎手は3コーナーから再び加速、後続を突き放して押し切り能勢を築く。直線入口で2番手に上がったシリウスコルトは伸びを欠き、かわって4コーナーからスパートしたドゥラドーレスが強襲。見